

事故の内容

積雪にハンドルをとられて、路側の除雪した雪の壁に衝突した。

発生状況

週明け初日の現場への通勤時に、自車が積雪によりハンドルを取られて、路側の除雪した雪壁に衝突した

※ 事故当日10:00の事故現場付近の県道路情報ライブカメラ画像

※参考資料のため、事故が発生した箇所と写真の場所は異なります。



自車

相手車

他車

事故の原因

自車運転社員の安全運転意識の低下および雪道の運転技術の未熟性

安全運転管理者より

雪道やアイスバーンでの運転は、経験や技術が不足している場合、重大な事故につながる危険性が高まります。

運転技術が未熟な場合は、無理な運転を避け、必要に応じて運転を控えるなどの判断を行ってください。

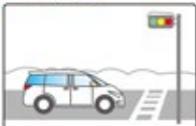
やむを得ず運転する際は、急発進・急ブレーキ・急ハンドル・急な車線変更を厳禁とし、発進時はアクセルをじわりと踏み、十分な車間距離を確保して慎重な予測運転(かもしれない運転)を徹底してください。

また、走行前には、車に積もった積雪を除雪したうえで、ブラックアイスバーンが発生しやすい夜間・明け方、橋の上、陸橋、トンネル出入口付近では特に注意し、安全最優先で行動してください。

知っておきたい冬道運転心得!

冬道の危険箇所

①交差点



交差点では路面がタイヤで磨かれ、ミラーバーンになることがあります。発進時のタイヤの空転、停車時のスリップの原因になるので、注意が必要です。

②日陰箇所の路面



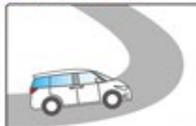
日陰の場所は凍結が起こりやすく、ほかの場所より溶けにくい箇所です。アイスバーンに注意しましょう。

③下り坂



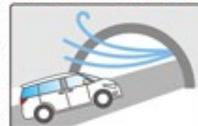
下り坂での強いブレーキはスリップの原因になります。下り坂に入る前に十分な減速とエンジンブレーキを効かせましょう。

④急なカーブ



カーブでは遠心力により車体が外に引っ張られます。凍結した路面ではタイヤの摩擦力が下がりますので十分に注意しましょう。

⑤トンネル出入口



トンネルの出入口は冬の冷たい風が吹き抜け路面が凍結しやすい場所です。特にトンネル出口では十分に注意しましょう。

⑥橋梁部



橋は吹きさらしになり、路面温度が極度に下がり凍結しやすい所です。スリップに気を付けましょう。

冬道お役立ちアイテム チェーン(雪が多く滑りやすい場所では必携)/スコップ(雪にタイヤがハマった場合必要)/その他(砂袋、毛布など)